

11月号 あいのそのだよ

発行日：2020年11月2日（月） No.870

発行者：社会福祉法人 シオンの丘 愛の園保育園

主 題 よろこび
 聖 句 いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。
 どんなことにも感謝しなさい。
 テサロニケの信徒への手紙 第I 5章16～18節
 讃美歌 山のかんしゃさい よろこびひろげよう

「はばたく」

今、子どもたちからよく出る言葉に「忙しい」「疲れた」という言葉があります。聖書には「若者も倦み、疲れ、勇士もつまづき倒れ」（旧約聖書・イザヤ書40章30節）とあるように、疲れを感じない人はいませんから、子どもたちからこのような言葉が出てもおかしくはありません。

私たちの感じる疲れには肉体的な疲れと精神的な疲れがあります。前者の方は一晩寝れば癒されますが、後者は特に私たちの身の回りで起こる出来事からそう簡単には取り除くことはできません。

旧約聖書時代の預言者イザヤは「主に望みをおく人は新たな力を得 鷲のように翼を張って上る。走っても弱ることなく、歩いても疲れぬ。」（イザヤ書40章31節）と言いました。では「新たな力」とは何でしょうか。それは「鷲のように翼を張って上る」力です。この力はたとえ逆風が（困難）があっても神さまを信じる心（翼）を広げ、はばたき飛躍することができるのです。

一人のキリスト教会の牧師は「困難を通して神さまを見れば、神さまの御姿が小さく頼りなく見えるけれども、神を通して困難を見れば、困難は小さく何でも無いもののように見える」と言いました。

また情緒障害の子どもを受け持つ保育者が「自分自身が保育者として行き詰まり、自分が壊れそうになったとき、十字架のイエス・キリストを仰ぐのです。私たちのためにイエス・キリストがあればほど苦しんでくださったことを思うとき、このイエス・キリストの愛に支えられて立ち直ることができました」と話されましたが、ここに神さまの力があるのです。

人は「信じる」という法則によってはばたくことができるのです。そしてその法則から「幸せ」とは苦しみがないということではなく、慰めと励ましと力が上より与えられるのです。これは私たちがたくましく、力強く生きるための秘訣です。

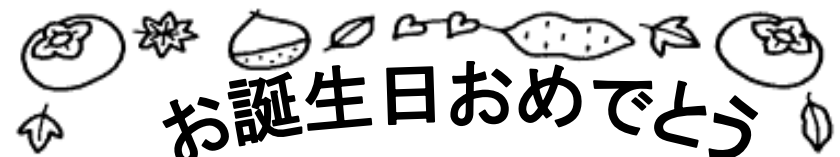
日本バプテストシオン山教会牧師、法人理事 伊藤光雄



- 4日（水） ボール遊び教室（3・4・5歳児）
- 5日（木） 避難訓練
- 6日（金） あそぼう会
- 8日（日） 子ども祝福式（シオン山教会）
- 13日（金） ボール遊び教室（3・4・5歳児）
- 18日（水） 収穫感謝礼拝
- 25日（水） 誕生会
- 30日（月） アドヴェント礼拝I



園設立感謝礼拝を教会で行いました。
（3・4・5歳児）



1日	1名	1さい
2日	1名	3さい
16日	1名	2さい
19日	1名	5さい
28日	1名	4さい
28日	1名	5さい



○8日（日）は、シオン山教会で子ども祝福式があります。詳細は別紙にてご確認ください。
 ご家族の皆様で、どうぞご出席ください。
 ○「子どものよりよい育ちと子育て支援の充実、保育園の保育をよりよくするための要望」のご署名とカンパのご協力、ありがとうございました。保護者、職員のカンパは総額 円34,000でした。カンパで集められた資金は、全保協・全私保連並びに北九州保連・私保連の活動資金となります。